

政策目標	未来を担う人が育つまち	施策目標	子どもの生きる力を育む魅力ある学校教育	主要施策	確かな学力の向上	評価部局	教育委員会 学校教育部	関連部局	教育委員会管理部
施策コード	2212	施策名	新たな社会への対応力を育む教育の推進						

目的	施策の目的 (目指すべき姿)	英語教育及び情報教育の充実に取り組むとともに、教員のICT活用指導力向上を支援することにより、児童生徒の国際化社会・情報化社会に主体的に対応できる能力を育成する。	施策の方向性	成果指標							
				指標名(単位)	性質	指標の意味・算式等	H26 (基準年度)	H28	H29	H30	H31
目的	平成28年度 目指すべき姿	重点化	① ICTを活用した授業時間数 (1クラスあたり月平均)(時間)	↑	ICTを活用した授業時間数(1クラスあたり月平均)	目標	20	20.5	21	21.5	22
				実績	9.5						
				② 授業中にICTを効果的に活用 できる教員の割合(%)	↑	授業中にICTを効果的に活用できる教員の割合(市内教員の割合)	目標	87	87.5	88	88.5
目的	・学校の情報教育に係る環境整備 ・グローバル化を見据えた英語教育の充実	重点化	③ 中学3年生英語力(英検3級 程度)(%)	→	中学3年生において、英検3級程度の力が認められる生徒の割合	目標	45	50	55	58	60
				実績	-						

手段	事務事業コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規				
						款 項	H27	H28	指標名	性質	意味・算式等	H27		H28			
手段	221206	情報教育推進事業	教育の情報化を推進し、効率的な校務運営を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・システム管理担当者研修(年4回) ・システム管理担当者による校内研修の実施 ・パソコン、電子黒板、実物投影機、デジタル教科書等のICT活用研修ならびに授業実践 ・伊丹市教育ネットワークシステム「Data Web」を活用した授業実践 ・情報モラルに関する研修会の実施 ・校務支援システムの活用(通知表・指導要録・成績処理等) ・校務の効率化の推進 ・情報セキュリティ研修の実施 ・資産管理システムの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した授業改善を推進し、授業力向上を図れるように、指導主事や教育の情報化推進員が、教科指導におけるICT活用を支援する。 ・各学校園における情報モラル教育を推進する。 	10	29,003	30,267	ICTを活用した授業時間数(1クラスあたり月平均)(時間)	↑	ICTを活用した授業時間数(1クラスあたり月平均)(時間)	計画	-	20	重点		
												01					
手段	221207	情報教育環境の整備(幼稚園)	事務負担軽減を支援するため、パソコンやソフト等の情報教育設備の整備を計画的に進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・資産管理システムの活用によるセキュリティ強化及び効率的な遠隔支援の実施 ・総合教育センターのサーバ・ネットワーク機器更新による各園のセキュリティ機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育情報の一元管理を図り、事務の効率化・セキュリティ強化・導入機器を有効活用する。 ・校務支援システムを活用し、事務負担軽減と幼児と向き合う時間を確保する。 	10	6,584	7,320	コンピュータの整備台数(台)	=	コンピュータの整備台数(台)	計画	58	58	創生		
												06					
手段	221208	情報教育環境の整備(小学校)	事務負担軽減を支援するため、パソコンやソフト等の情報教育設備の整備を計画的に進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・資産管理システムの活用によるセキュリティ強化及び効率的な遠隔支援の実施 ・総合教育センターのサーバ・ネットワーク機器更新による各学校のセキュリティ機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育情報の一元管理を図り、事務の効率化・セキュリティ強化・導入機器を有効活用する。 ・校務支援システムを活用し、事務負担軽減と児童と向き合う時間を確保する。 	10	75,292	78,980	コンピュータの整備台数(台)	=	コンピュータの整備台数(台)	計画	1,396	1,396	創生 重点		
												02					

事務 事業 コード	事務事業名	事業の目的	事業の内容	平成28年度 事業の目標	款 項	事業費の概算(千円)		活動/成果指標の状況					重点 新規	
						H27	H28	指標名	性質	意味・算式等	H27	H28		
221209	情報教育環境の整備(中学校)	事務負担軽減を支援するため、パソコンやソフト等の情報教育設備の整備を計画的に進める。	・資産管理システムの活用によるセキュリティ強化及び効率的な遠隔支援の実施 ・総合教育センターのサーバ・ネットワーク機器更新による各学校のセキュリティ機能の強化	・教育情報の一元管理を図り、事務の効率化・セキュリティ強化・導入機器を有効活用する。 ・校務支援システムを活用し、事務負担軽減と生徒と向き合う時間を確保する。	10	46,524	48,558	コンピュータの整備台数(台)	=	コンピュータの整備台数(台)	計画	717	717	創 注 重点
					03									
					10									
221212	情報教育環境の整備(特別支援学校)	事務負担軽減を支援するため、パソコンやソフト等の情報教育設備の整備を計画的に進める。	・資産管理システムの活用によるセキュリティ強化及び効率的な遠隔支援の実施 ・総合教育センターのサーバ・ネットワーク機器更新によるセキュリティ機能の強化	・教育情報の一元管理を図り、事務の効率化・セキュリティ強化・導入機器を有効活用する。 ・校務支援システムを活用し、事務負担軽減と児童生徒と向き合う時間を確保する。	10	2,170	2,079	コンピュータの整備台数(台)	=	コンピュータの整備台数(台)	計画	42	42	創 注
					04									
221213	グローバル化に向けた英語教育推進事業	今後の我が国のグローバル化を見据え、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上を図る。	・外国人英語指導助手(ALT)の小・中・高等学校派遣 ・伊丹市中学校英語暗唱・スピーチ大会の実施 ・小学校英語指導補助員派遣 ・英語教育小中連携の推進 ・中学校英検特別講座の実施	【外国人英語指導助手(ALT)派遣】 ・5名のALTを小・中・高等学校に派遣(派遣日数:小学校2~6日、中学校65日、高等学校180日) 【伊丹市中学校英語暗唱・スピーチ大会】 ・各中学校から「暗唱の部」「スピーチの部」に計3名が出場し、各部門において最優秀賞・優秀賞各1名を表彰 【小学校英語指導補助員派遣】 ・各小学校5・6年生のクラス数に応じて、JTEを派遣 【英語教育小中連携】 ・英語教育小中連携委員会において、小学校教員と中学校英語科教員による合同研修を実施 【中学校英検特別講座の実施】 ・英検受験希望者を対象として、各中学校で特別講座を実施(実施回数 2時間/1回×年間6回)	10	28,181	30,482	伊丹市学習到達度調査(英語) 伊丹市平均正答率対全国平均正答率(%)	1	伊丹市における平均正答率と全国平均正答率の比較 伊丹市平均正答率÷全国平均正答率×100(各年実施)	計画	-	-	創 注 重点
					01									
221214	英語外部試験受験料等助成事業	小学校教員、及び中・高等学校英語科教員の英語外部試験の受験料等を助成することで、受験を推奨するとともに、教員の英語力向上を図る。	小学校教員、中・高等学校教員が英語検定、TOEIC1公開テスト、TOEFL iBTを受験する際の受験料等を助成する。	次年度以降実施予定	-	-	-	-	-	-	計画	-	-	
					-									

施策全体事業費の概算(千円)	H27	H28
	187,754	197,686

手
段